

おめでとうございます！

WBC世界バンタム級

母校日枝中学校の卒業式に出席



3月15日、母校日枝中学校の卒業式に来賓として出席しました。あいさつで「私は中学校の卒業文集に『将来は世界チャンピオンになりたい』と書きました。その言葉を書いたことで苦しいときでも練習を頑張れました。皆さんも夢や目標を持ってこれからも楽しい生活を送ってください」と卒業生にメッセージを送りました。

V10の軌跡 (世界チャンピオン王座獲得後)

- WBC世界バンタム級王座決定戦 平成23年11月6日
王座獲得 第29代王座クリスチャン・エスケベル 11RTKO勝ち
- V1 平成24年4月6日 ビック・ダルチニアン 12R判定勝ち
 - V2 平成24年11月3日 トマス・ロハス 7RKO勝ち
 - V3 平成25年4月8日 マルコム・ツニャカオ 12RTKO勝ち
 - V4 平成25年8月12日 ホセ・ニエベス 1RKO勝ち
 - V5 平成25年11月10日 アルベルト・ゲバラ 9RKO勝ち
 - V6 平成26年4月23日 シュテファーヌ・ジャモエ 9RTKO勝ち
 - V7 平成26年10月22日 スリヤン・ソールンビサイ 12R判定勝ち
 - V8 平成27年4月16日 ディエゴ・サンティリヤン 7RKO勝ち
 - V9 平成27年9月22日 アンセルモ・モレノ 12R判定勝ち
 - V10 平成28年3月4日 リポリオ・ソリス 12R判定勝ち

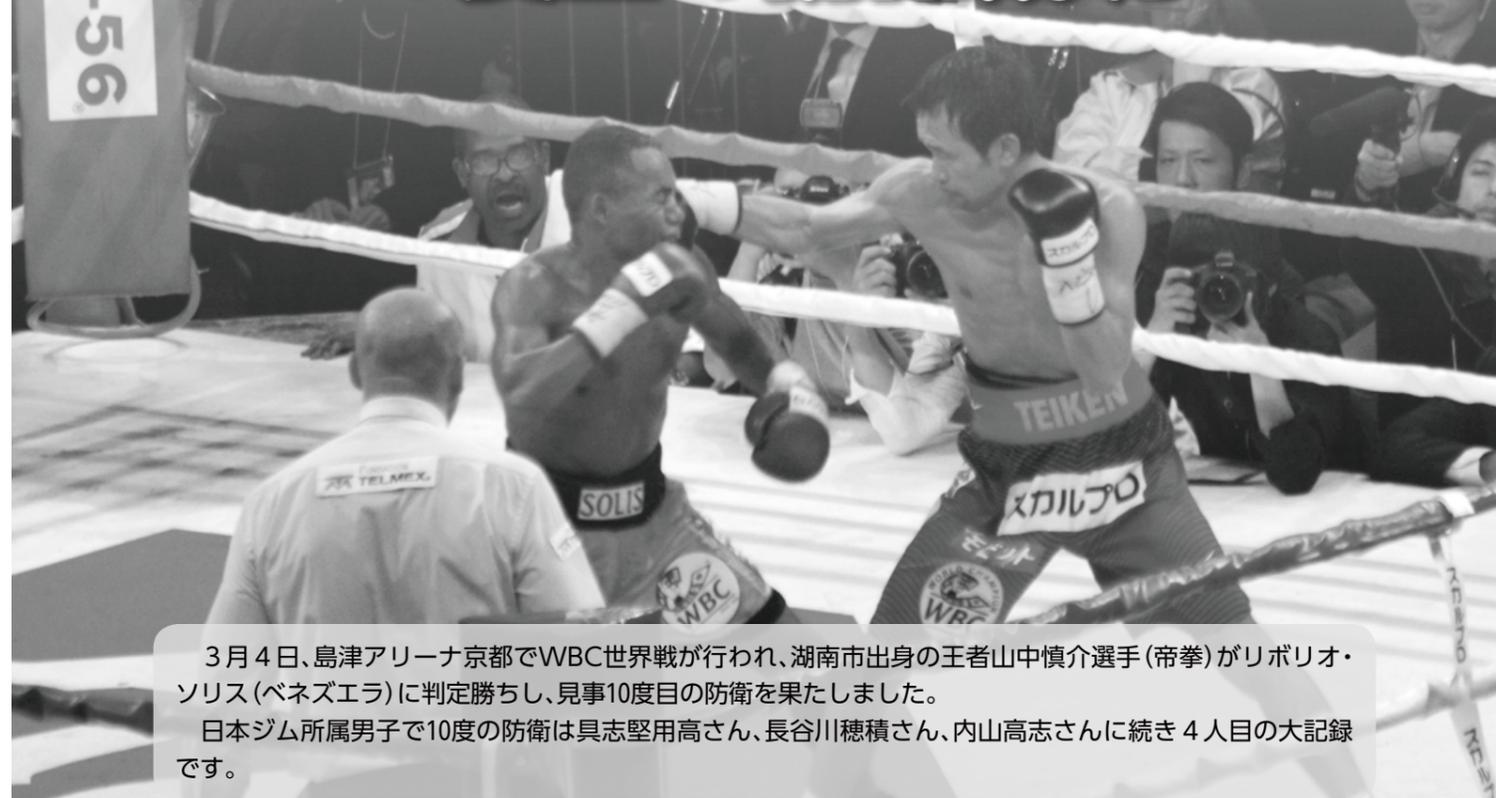
WBC世界バンタム級王座決定戦



V5アルベルト・ゲバラ戦



チャンピオン山中慎介選手 10度目の防衛成功



3月4日、島津アリーナ京都でWBC世界戦が行われ、湖南省出身の王者山中慎介選手(帝拳)がリポリオ・ソリス(ベネズエラ)に判定勝ちし、見事10度目の防衛を果たしました。日本ジム所属男子で10度の防衛は具志堅用高さん、長谷川穂積さん、内山高志さんに続き4人目の大記録です。

チャンピオンにインタビュー

Q V10おめでとうございます。試合の感想を聞かせてください。

A 1ラウンド目、2ラウンド目はそんなに危なくない、自分の中でもまあ普通にいるだろうというある程度の手応えはありました。ただ3ラウンドにパンチをもらってしまい、1回ならまだしも2回ダウンしてしまったので、さすがに会場がどよめいていましたね。それでもなんとか立て直せたのは、今までの経験がいきましました。これを取り越えたことで、こういうプレッシャーも力に代えることができますし、いい経験になりました。

Q プレッシャーはありましたか。

A ないとは言えないですが、応援してくださいっているかたのおかげで中盤以降強い気持ちで戦うことができました。しっかりとポ、

イント差では勝って、V10達成できたので、最低限のことはできたと思います。

Q 3ラウンドで2回ダウンしたときの気持ちは？

A もちろん記憶は全く飛んでいませんし、ダメージもなかったです。倒れた時はたぶん2回とも苦笑いしていたと思いますが、パンチがきいているわけではなかったです。笑っていました。笑って、シヨックはありました。あのまま終わっていたら滋賀県に帰ってこれなかったですね(笑)。それでもインターバル中は次のラウンドに向けて作戦をしっかり立てました。精神的にもそういった面で成長できたかなと思います。

Q 相手はかなり打たれ強かった印象でしたが。

A 自分のパンチが少しいきていなかったところがあ、

りました。相手の良さを引き出してしまい、強く見えさせてしまった。自分が原因ですね。構え合っていてもそんなに強いという感覚はなかった。自分の力が発揮できない悔しさが常にありながら戦っていました。

Q 今回会場が京都というところで、東京や大阪以上に地元の声援が大きかったと思いませんか？

A もちろん声援は聞こえました。3ラウンド目に倒れた時はかなり焦らせてしまっているかなと。実は今回のルールはフリーノックダウン制で、レフリーが危険とみなさない限りは大丈夫だったんですが、3ノックダウン制だと思ってる人もいたので、余計にヒヤヒヤさせてしまったかなと思います。

Q 今後の抱負を聞かせてください。

A 大台の記録にのったので、もちろんこれからも防

Q 最後に湖南省の皆さんにひとこと

A 3月4日の防衛戦では、ちよつとヒヤヒヤの展開になりましたが、無事勝利し、V10達成することができました。試合当日は湖南省から多くのかたが会場に足を運んでいただいたので、本当に力になりました。まだゴールではないので、今後も頑張っていきます。皆さん応援よろしくお願ひします。

